

年刊

# アトリ工通信

VOL.

6

復刊準備部

元坂 勉 丑 心 毎 丑 榮

雑感  
 研修旅行報告  
 記事  
 住所録  
 編集後記

発行日  
 90. 1. 23  
 発行場所  
 釧教大  
 絵画研究室

① 本年度も、採用試験の発表の時期がやってきた。11月8日通知が届くことにも、例年同様の悲喜こもももの情景が・・・アトリエには某「藤井」というトボケタ御仁が生息していることを御存じの方も多いであろう。なんと彼に「A採用」通知が来たー？  
お、おめでとつ。

(89.11.10)

② この御仁曰く、「さあ、就職したらサボルゾー。そして豊かな老後を迎えるんだ。」こんな寝惚けた人物に、免許状を持たせて卒業させて良いものか？なやんでしまふ。

(89.11.10)

③ 昨年三月に新聞を止めて以来9ヶ月がたつ。以後我が家の読みものは、家内がとっている週に一度の「新婦人新聞」と年に四回の「通販生活」(主婦&主夫の掘り出し物マガジン)のみ。学校の閲覧所でもほとんど読まないから、すっかり新聞から遠ざかってしまっている。

(89.12.3)

④ あいかわらずNHKの受信料を払っていない。委託集金人を三度ほど追い返す

たあと、ついに「職員」なる人物が登場した。待ってましたと応対したが、てごたえなく帰っていった。2年前のことであった。その後も集金人のすがたを時折見かけるが、もつ寄ってくれなくなってしまった。

(89.10.5)

## 雑感8題

新井義史

⑤ 昨年以来、先生方の奥さんが御難続きである。長谷川先生の奥さんの死亡。二上先生の奥さんの過労による入院。加藤先生の奥さんの乳癌の手術と、順に災いが巡っているかのようだ。二上先生の弁によると、美術科の先生は皆好き勝手なことばかりやっているから奥さんに負担がかかるのでは、とのことであったが、H&K先生の場合を考えるとサモアリナンと思えなくもない。

(89.9.23)

⑥ 今年は5・8・9月と札幌で発表しているが、いずれも展示のさいには行ってない。おかげでひどい目にあっていた。壁にかけるつもりのものが床におかれたり・・・いよいよ我慢ならず「展示だけはいくら金がかかろうとも自分でやる」ときめた。したがって、11月の今年四度めの発表には夜行バスで出向いた。展示して、持っていた作品ラベルを貼って、全部自分の手で処理してきた。複数での発表はとかく難しい。これからできれば自分ひとりで発表したい。

(89.11.19)

⑦ 今年は3・6・7・10月に東京に行った。そのおりに、銀座の画廊を觀てまわった。銀座には、この八年ほど遠ざかっていたが上野の公募展に幻滅してからはもっぱら銀座の画廊を廻るようになった。一時間ほどで十数か所を觀るわけだが、作られたばかりの作品が、うらぶれたビルの片隅で息づいている姿をのぞくことができるのはきわめて快感に思えるようになった。

(89.11.15)

⑧ 今、家内とチビたちが実家に帰省中である。やもめ暮らしが二週間半になる。大きな声では言えないが、とても快適である。

(90.1.20)

# 89 研修旅行

## 行 報 告

昨89年度の研修旅行は、6月に小樽の地にておこなわれました。今回は、アトリエの学生数の減少により、数年ぶりに美教の学生と合同で開催されました。もはや半年前の出来事でもあり、「記憶も定かでない」面はあれども、アトリエの参加者各人に一言つつ感想をかいてもらいました。

新井

### 4年 藤井つかさ

今回、福井先生の引率で美教との合同で研修旅行に出掛けた。以前のオンネットでは新井先生の落語攻撃とは違う、福井先生のお酒攻めである。深ちゃんに苦勞して飲ませたあげく、「藤井の奴なんか連れて行くんじゃないか」と言われながらも、街には行かずひとり旅館で教採の勉強にあけくれ、間山くんの小樽の思い出を誰にも口にできなかった私であった。

追記：「君の瞳に乾杯ー」あさりのさかむしマヤマ

### 3年 間山正樹

私にとって2度目の研修旅行。昨年は10月のオンネットに、そして今年は六月の小樽へ。釧路とは違った、北海道の自然そして街並みを見るのが楽しみな研修旅行ですが、今回は天候にも恵まれ、スケッチにはもってこいの日が続きました。

ここで私の旅先での様子をちょっとお知らせします。

まず初日はバスでの移動。そして翌日からのスケッチのための下見（小樽観光で終わってしまいました。釧路ー札幌7時間余りの夜行バスの疲れが残った一日でした。

2・3日目には小樽の古い石造り建築を中心にスケッチ。しかし、6月とはいっても日差しは予想以上に強く、日中はおっぱら喫茶店で冷たい物ばかり飲んでいました。（喫茶店の中からスケッチしたことも）

そして、みんななどの最後の夜にはやはりお酒。福井先生や研究室の仲間との楽しい語りにつられて、ついつい飲み過ぎてしまいました。初めて2日酔いを経験しました。

このように過ぎた3日間でしたが、古い街並みを大切にしながらしかも活気あふれる街づくりをしている小樽は、私にとっ

て印象深い街となりました。

### 2年 瀬尾理香

スターライト号での夢の小樽ツアー。美しい運河と昔の良さを残した建物をすっかり気に入ってしまいました。笛を吹く少年の像を描いている日のことでした。仲むつまじく若いカップルが来ました。像と共に写真をとるのです。

「じゃ、先にアナタ♡」

「今度はキミ♡」

それはそれは仲良く二人の熱い雰囲気をつくってしてくれました。（あもう私かいてるんですけどー）

おもしろかったのは観光客のどっかのおじさん。

いきなり像に歩みより、像の頭をぺんと打ち一言、「よう、坊主、しっかり頑張れよー」なにを間違ったか像に小銭をおいけてくのでした。（もしもしー）

でもK先輩やF先輩は、ヤクザの皆さんに囲まれ、お言葉をいただいたので、それよりは良かったかなと思ったりするのです。夜はもちろん、福井先生を囲んでの楽しい宴でフィーバーしました。

**受信者住所録一覽** ( '90.1現在)

卒業度	氏名(姓)	☎	住所
	新井 義史	085	釧路市鶴ヶ岱 1-6-6 ☎0154-42-5701
56	神 史明	080	帯広市南町南 8 線西26番地77 キンコボ 412
	◆坂下 麻子(譚)	088-56	岩手県下閉伊郡岩泉町字町向67-1
57	◆小林 広勝	046	余市町港町 5-4
	中山 恵子(松)	086-11	中標津町東 8 条南 9 丁目
58	◆内山 博之	085	釧路市芦野 3-34-521 公館住宅ゆや 521号室
	阿部 智美	086	根室市厚床 2-226
59	秋山 希嘉	840	佐賀県佐賀市神園 2-7-32
	山中 哲也	085	釧路市愛国39-230岡坂マンション 1F3号
	高田 健二		不明
60	川守田 広章	070	旭川市旭町 2 条16丁目
	安永 秀子	793	愛媛県西条市神拝甲 234-4
61	◆渡辺 弘樹	090	北見市桂町 3-158-50
	菅谷 誉紫子	085	釧路市武佐 1-8-132
62	河村 絵理子	085	釧路市桜ヶ丘 7-17-10
	◆篠塚 智子	281	千葉県朝日ヶ丘2529かどやハイツ1-5号室
	宗森 研介	708	岡山県津山市林田558-1
63	◆大橋 拓	085	釧路市住之江 8 番2110号ノースコート住之江Ⅱ
	◆伊藤 恵理	085	釧路町別保南 1 丁目18番地
	◆松久 充生	085	釧路市富士見 2-9-11リトルハウス

1 (◆印は 5 号住所録と変更あり)

**編集後記**

- 皆様にご好評の「アトリエ通信」も、ついに海の藻屑と消え去ったかと、誰もが思われたことでしょう。どっこい、不死鳥のようによみがえったのです。
- 今回は『復刊準備号』としてジャブ程度に発行しました。なにせ兵隊＝在校生が 3 名という有り様ですから、記事も少なく、今後は卒業生の皆さんのご投稿だけが頼りです。
- しかしながら、上記の住所録でおわかりのように、昨年 4 月には 3 名の卒業生全員が釧路市内に就職出来るという快挙に恵まれました。そこで、本年度の「丘馬展」を地元在住の卒業生も含めたかたちで開催しようということになりました。おそらく来年も同様のかたちで実施することになると思いますので、可能であれば各地に散って頑張っている卒業生の皆さんも出品してもらえれば一層にぎやかな発表になることでしょう。
- 次号「アトリエ通信 復刊号」では、今回の「丘馬展改め〇〇〇展」の作品写真入りの大特集を組みたいと思っています（復刊できればの話ですがネ）。
- ご意見・ご要望をお待ちしています。
- ☆ 私も頑張ります。